

ガス事業中長期経営計画 令和2年度末の進捗状況

【経営指標】

指標の分類		指標の意味	H29年度末 実績	R2年度末 状況	R2年度末 目標
経営指標					
算出式					
経営の健全性・効率性					
経常収支比率（％）		「経常損益」：料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。	107.1	113.6	102.6 → 105.0
＝ 経常収益額÷経常費用額×100					
流動比率（％）		「支払能力」：1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がどの程度あるかを表します。	860.3	604.3	992.8 → 1,192.8
＝ 流動資産÷流動負債×100					
料金回収率（％）		「料金水準の適切性」：料金で回収すべき経費について、どの程度料金で賄えているかを表します。	107.3	116.8	102.7 → 105.9
＝ 回収単価÷1㎡当たり原価×100					
1㎡当たり原価（円） ※		「費用の効率性」：供給量(託送)1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表します。	66.6	22.3	77.9 → 20.1 ※
＝ (経常費用－ガス売上(LPG)－営業雑収益－附帯事業収益－営業外収益)÷供給量					
ガス普及率（％）		「施設の活用度」：供給区域内における本市ガス供給戸数の割合を表します。	70.2	69.8	65.0 → 69.5
＝ 供給戸数÷供給区域内戸数×100					
老朽化の状況					
有形固定資産減価償却率（％）		「施設全体の減価償却の状況」：有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表しており、施設の老朽化度合いを示しています。	76.8	77.7	73.9 → 76.3
＝ 有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価格×100					
管路経年化率（％）		「管路の経年化の状況」：法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表しており、管路の経年化度合いを示しています。	73.1	79.5	77.8 → 78.5
＝ 法定耐用年数を超過した管路延長÷管路総延長×100					
管路更新率（％）		「管路の更新投資の実施状況」：当該年度に更新した管路延長の割合を表しており、管路の更新ペースや状況を把握できます。	0.37	0.13	0.47 → 0.34
＝ 更新管路延長÷管路総延長×100					

平成30年度の経営計画一部改訂に伴い、目標値の見直しを実施しました。

※H29年度末実績は下記の算出式で算定しています。

1㎡当たりの原価 (円) = (経常費用－営業雑収益－営業外収益)÷販売量